

コラムを読み解く(中学・国語)

()中学校()年()組 氏名()

南風録

夏の暑さで食欲がなくなる
と、氷室豆腐が思い浮かぶ。
透明な寒天に、白い豆腐を閉
じ込めた涼しげな和菓子。黒
蜜を垂らし、大豆の風味と寒
天の優しい甘味を楽しむ▼江戸の料理
本「豆腐白珍」にも、意表を突く奇品
「玲瓏(こおり)豆腐」として紹介さ
れている。冬に採った氷を夏まで貯蔵
した氷室の水に見立てたらしい。氷が
貴重だった時代、涼しさを演出する粋
な工夫だった▼天然の涼が詰まったこ
ちらは、今夏の猛暑に早くもお手上げ
だったか。神戸・六甲山にある氷室で
はまさかの氷20トが消えていた。近く
の展望施設に冷風を通そうと扉を開け
たら、全て溶けていたという。期待し
て訪れた人はびっくりしただろう▼九
州南部も平年より18日早く梅雨が明け
て、猛暑が続く。鹿児島県の集計では
6月から昨日夕までに700人が熱中
症の疑いで搬送され、80代2人が亡く
なった▼総務省消防庁によると、昨年
は住居での発生が4割に上った。身体
や感覚の機能が低下する高齢者や、機
能が未発達な子どもなど、熱中症は誰
でもどこでも起こりうる▼「日頃から
予防の努力を」。本紙で医師が呼びか
けていた。水分補給はもちろん、外出
時は帽子や日傘を使う。まずは balan
スのよい食事と十分な睡眠が基本だろ
う。食欲がなければおいしい豆腐を手
に入れて氷室豆腐でも作ってみよう。
もちろん室内の温度管理も忘れずに。

2025年7月16日付1面

【問1】 氷室豆腐とは何ですか。

(透明な寒天に、白い豆腐を閉じ込めた涼しげな和菓子。)

【問2】 氷室とは何ですか。

(冬に採った氷を夏まで貯蔵する施設 (場所)。)

【問3】 神戸・六甲山にある氷室で氷20トが消えていたのはなぜですか。

(天然の氷室の氷を全て溶かすほど、今夏が猛暑だから)

【問4】 熱中症予防としてどのような対策が挙げられていますか。

(水分補給。外出時は帽子や日傘を使う。バランスの良い食事と十分な睡眠をとる。)

【問5】 熱中症予防について、あなたの考えを書きましよう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

氷室豆腐(ひ・むろ・どう・ふ)

黒蜜(くろ・みつ)

甘味(かん・み)

意表(い・ひょう)を突(つ)く＝相手の予想外のことをする。

見立てる＝別の物になぞらえる。仮にその物と見なす。ほかに、選ぶ、病気を診断するという意味もある。

涼(すず)しさ

粹(いき)＝あかぬけていて、人情の機微(き・び)に通じていること。

涼(りょう)

猛暑(もう・しょ)

六甲山(ろっ・こう・さん)

施設(し・せつ) 扉(とびら)

溶(と)けて

熱中症(ねっ・ちゅう・しょう)

搬送(はん・そう)＝人や物を運ぶこと。

高齢者(こう・れい・しゃ)

誰(だれ)、日頃(ひ・ごろ)

帽子(ぼうし)、日傘(ひ・がさ)

睡眠(すい・みん)

